和名	分類	特徴ほか	会える場所			
コムラサキ	タテハチョウ科	紫色の幻光	ハイム	多摩川土手	生田緑地	その他
			x	○	x	全国

成虫発生時期（月）												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	

食草　○ 食樹	発生回数/年	越冬形態
ヤナギ類	3～4	幼虫

神奈川県（多摩川）6月初旬　（Photo Henk）

国蝶のオオムラサキを意識してのしゃれた命名と推測できますが、オスの翅の表は見る角度によって南方系の蝶のような怪しげな紫の幻光を発します。柳が多い河原などでは無数に飛ぶコムラサキの幻光に囲まれ呆然とすることがありますが河原の発生地以外ではいずれもそれほど個体数が多い蝶ではありません。地域によりクロコムラサキと呼ばれる黒化型で珍重されるタイプが一定比率で見られます。

長野県　8月上旬　南佐久郡　ミネラル補給

山梨県　8月上旬　クヌギの樹液

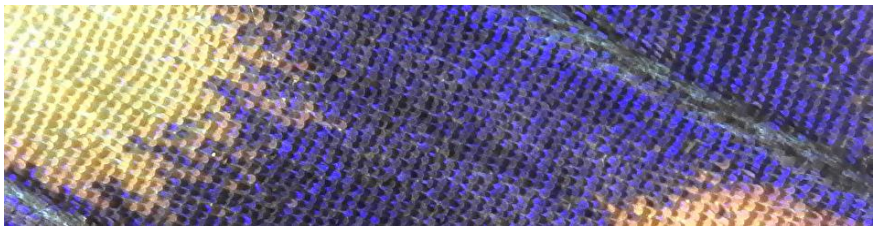
神奈川県（多摩川）　11月中旬

埼玉県　５月末　湿地のミゾソバ葉上

長野県上高地梓川
集団ミネラル補給
7月下旬

長野県上高地梓川
7月中旬

長野県上高地梓川
オオイチモンジとともに獣糞に
集まる
7月中旬



鱗粉の配列